

【会議結果】

会議名	令和4年度 第2回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和4年8月24日(水) 午前10時～11時30分
場所	碧南市役所 7階議員大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員16名(内代理出席2名) 事務局3名、コンサルタント3名 (欠席:岩崎副会長、愛知県都市・交通局交通対策課 大林委員)
傍聴者	4名

議事

1 あいさつ

2 議題

(1) コンサルの決定及び計画策定スケジュールについて(報告事項)

○事務局、コンサルタント

・資料1により説明

・採決 委員全員の挙手により議題の承認

(2) 各種ニーズ調査の実施と分析方法について(協議事項)

○事務局

・資料2により説明

質疑応答

○鳥居委員(市民公募)

アンケートは既に始まっているのか。

○事務局

本会議の承認後、9月ごろから始める予定としている。

○林委員(愛知県知立建設事務所)

市民アンケートはWeb回答併用となっているが、利用者アンケートも併用にはならないか。

○事務局

一部、回答形式が複雑な部分があるため、現状では紙で回答としているが、Web回答についても検討する。

○山内委員代理 堺氏(中部運輸局愛知運輸支局)

市民アンケートは公共交通の利用目的についての選択肢に「通学」があるため、高校生も対象としてはどうか。

○小林委員(愛知県バス協会)

くるくるバスだけでなく、全ての公共交通を対象とするのであれば、市民アンケートは19歳

以上でなくてもよいのではないか。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

公共交通計画を策定するためのアンケートだと認識しているので、車を持っている方だけでなく、対象者は再考してほしい。

また、公共交通の利用者と免許が取れる年齢は関係ないと思う。

○事務局

対象年齢について、委員の皆さんのご意見を伺いたい。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

中学校区くらいで地区集計をするのであれば、徒歩圏内かと思うので、幅広い世代の方にお聞きした方がいいと思う。

○金沢会長（碧南市副市長）

対象年齢を変更することによって、調査票への影響はないか。場合によっては次の議題での議論としたい。

○事務局

アンケート調査票の内容に影響はなく、アンケート調査の基礎的な部分の議論であるため、この議題で議論したい。

○天野委員（レスクル美浜営業所）

朝や夕方といった時間帯では、くるくるバスに高校生が乗車していることがあるため、対象年齢は16歳以上とした方がよいと思う。

○金沢会長（碧南市副市長）

対象年齢を下げた方がよいという意見が多く、高校生を含めた16歳以上とするか。

また、対象者数は増やすか。

○事務局

対象者数は変わらず2,000人とする。

・採決 委員全員の挙手により議題の承認

(3) アンケート調査（市民アンケート、バス乗降調査、バス利用者アンケート）について（協議事項）

○事務局

・資料3-1～資料3-7により説明

質疑応答

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

利用者アンケートを配布する基準は。

○事務局

中学生を目安とする。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

市民アンケートと利用者アンケートで、公共交通の利用目的が一致していない。

利用者アンケートの利用目的で「アルバイト・パート」を「通勤」から分けた理由は。

○事務局

両調査票で選択肢の整合性をとる。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

市民アンケートの間3に、「タクシーの待機場所を知っているか」「予約等の電話番号を知っているか」を追加してほしい。

○事務局

回答項目を追加する方向で検討する。

○小田委員（碧南市民生委員児童委員協議会）

1人暮らしや障害者の方へ、別のアンケートは考えているか。

○事務局

現調査票では世帯の構成人数や健康状態について確認する設問があるが、移動が困難な方々に対しては、所属する団体等へのヒアリング等の方法となる場合があるが、意見は伺いたい。

○中村委員（碧南市建設部）

お願い文について、宛名の方が回答できない場合には、家族等が代理で回答してもよいことが伝わる文章としてはどうか。

○事務局

代理の方であっても、宛名の方について回答をしていただける表現に修正する。

○林委員（愛知県知立建設事務所）

利用者アンケートの間6において1番と回答した方は、間9ではなく間8を経由した方がいいのではないか。

○事務局

そのように修正する。

○大野委員（名鉄バス運行部運行課）

ふれんどバスは10月1日にダイヤ改正するため、乗降調査の実施日はダイヤ改正の前か後のどちらかに統一した方がいい。

バスの利用者が最終的のどこへ行くかを把握した方がいい。

市民アンケートの間5では「家族等の送迎」と「あきらめる」という選択肢が必要ではないか。

調査票中の表現について、「自家用車」と「自動車」の統一をお願いしたい。

○事務局

調査日については再度調整する。

利用者アンケートには最終目的地の設問の追加を検討する。

市民アンケートの間5については回答項目の追加を検討する。

文言は全体を通して確認して、統一する。

○山内委員代理 堺氏（中部運輸局愛知運輸支局）

市民アンケートの間6にある「新しい仕組みの公共交通」については、具体的な導入予定があるか。

○事務局

具体的な予定はないが、議会での質問もあり関心の高まりを感じるため、市民意向を把握したい。

○山内委員代理 堺氏（中部運輸局愛知運輸支局）

既存の交通の利便性を高めていく計画とするのであれば、乗合タクシーはくるくるバスでどうしてもカバーできないエリアに対しての調査とした方がよいのではないかと。

○事務局

以前、デマンド型交通の費用対効果などを分析し、市としてはデマンド型交通での市内の交通課題の解決は難しいという結論になっているが、議会質問等による関心の高まりから、市民の意向を把握したい。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

公共交通計画を策定するためのアンケートであるならば、現状を確認する設問が重要だと思っている。

市民アンケートの間6は現状把握ではなく、方策を検討する設問となっており、目的から逸脱するのではないかと。

○鈴木委員（碧南市身体障害者福祉協会）

公共交通について不勉強で、碧南市や周辺でどのようなものがあるか分からない。

障害者や高齢者は、駅まで行く手段に困るというケースがあるため、こうした乗り物があると、外出手段の選択肢に入ると思う。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

断定的な設問とすると、こうした意見をいただくことになる。

公共交通を充実させる方策は乗合いタクシー以外にもあるため、決め打ちでない形で、様々な手法を提示した設問になるとよい。

○鈴木委員（碧南市身体障害者福祉協会）

市から補助を受けているタクシーチケットを利用すると、運転手に嫌な顔をされることがあると聞いている。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

碧南市で運行するタクシー事業者に伝える。

○金沢会長（碧南市副市長）

市民アンケートの間6について、表現や設問の位置について検討することの理解を求める。

○山内委員代理 堺氏（中部運輸局愛知運輸支局）

市民アンケートの間8における「新たな公共交通」については、具体的な考えがあるか。

○事務局

現在想定はしていないが、ボランティア輸送や福祉有償運送等の例示をする。

○潮田委員（愛知県タクシー協会刈谷碧南支部）

例示として表現したものが、道路運送法上問題のないものか、運輸支局等に確認した方がいい。

○事務局

そのようにしたいため、協力をいただきたい。

○金沢会長（碧南市副市長）

質疑の中で意見や回答も含めて修正を行うことを前提として、事務局から提示された形で進めてよろしいか。

・採決 委員全員の挙手により議題の承認

3 その他

○事務局

・ふれんどバスのダイヤ改正について説明

利用者の意見により、碧南駅が終着の系統の一部便を碧南高校が終着の系統へ変更することや、名鉄三河線の休日ダイヤが改正されたことによるふれんどバスのダイヤ改正を10月1日に行うこととなった。

・次回の協議会開催予定について説明

令和5年1月18日水曜日午前10時から開催する。

閉会 午前11時30分終了